

杉並区の公園の課題について

1 量の確保

区内の公園緑地面積は 2.1 m²/人程度で推移しており、杉並区公園条例に掲げた目標である 5.0 m²/人を目指し、引き続き公園の整備が必要です。

●特徴のある公園の例

特徴	公園例
防災	蚕糸の森公園、馬橋公園、井草森公園、柏の宮公園、桃井原っぱ公園、下高井戸おおぞら公園
グラウンド	馬橋公園、塚山公園、井草森公園、 <u>下高井戸おおぞら公園</u> 、 <u>高井戸公園(都)</u>
立体都市公園	井草森公園、 <u>荻窪だんだん公園</u> 、 <u>阿佐谷けやき公園</u>
池、河川沿い	妙正寺公園、塚山公園、馬橋公園、大田黒公園、柏の宮公園、善福寺公園(都)、和田堀公園(都)、善福寺川緑地(都)
文化財・文化	大田黒公園、角川庭園、与謝野公園、塚山公園、 <u>(仮)荻外荘公園</u>
その他	杉並児童交通公園、読書の森公園、Aさんの庭、成田西ふれあい農業公園、玉川上水緑地

※下線は今後開園予定の公園

2 質の向上

区立公園等は 350 箇所となり、開園から 30 年以上経過した公園が 6 割を超えています。公園施設の老朽化はもとより、施設のバリアフリー化や安全・安心の確保が必要です。

●公園施設の長寿命化

公園施設のうち特に安全な公園利用が求められる遊具を対象に、計画的な長寿命化改修を進めています。

●多世代が利用できる公園づくり

開園当初に比べ、公園利用に関する区民ニーズが多様化しており、現状の公園機能と差異が生じているため、一定のエリアにおいて公園施設の再配置等による公園機能の見直しを図り、多世代が利用できる魅力ある公園への改修を進めています。



3 効果的・効率的な管理体制

効果的・効率的な公園運営をするため、民間の資金・能力を活用した指定管理者制度や P-PFI 制度等の検討が必要です。

●管理体制の例

管理業務委託	複数の公園について一体的に公園施設の維持管理、運営を委託する
公園例：塚山公園外 13 公園、井草森公園外 9 公園	
指定管理	公園の管理、運営を民間企業等の団体に包括的に代行させる制度
公園例：大田黒公園	
P-PFI	売店等の公園利用者の利便向上に資する施設の設置と、当該施設から生ずる利益を活用して園路等の整備、改修を行うものを公募により選定する制度
実績なし	